

110者に感謝状贈る

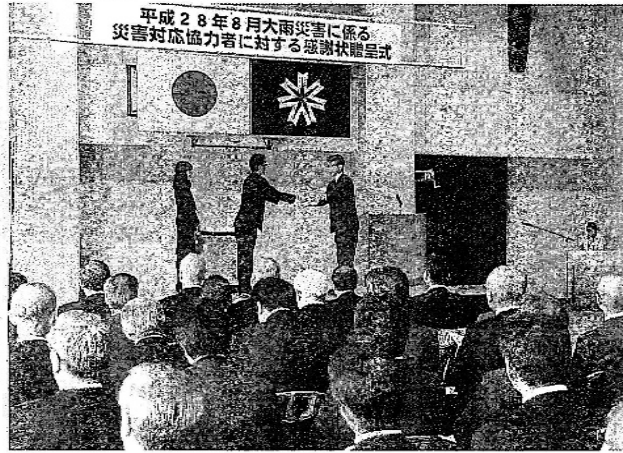
帯広建管 台風災害対応協力

【帯広】帯広建管は13日、昨年8月に十勝を襲った台風の災害対応に協力した企業や団体110者に感謝状を贈った。十勝総合局の永山秀明副局長が一人一人に賞状を手渡し、昼夜を問わず復旧に尽くした働きぶりをねぎらった。

緊急を要する工事や調査を手掛けた企業、災害協定に基づいて会員企業を派遣した団体、災害査定準備のため北海道建設技術センターから派遣されたOB職員の所属企業といった功績のあった者に贈った。

会場の十勝総合局禮堂には帯広建設業協会、十

勝測量設計協会、札幌地



建設業者らの災害対応をねぎらった

区測量設計協会の3団体のほか、各社の代表が出席した。

一人一人に感謝状を手渡し贈呈式は1時間に及んだ。

永山副局長は、台風災害と応急対応を振り返り、「地域の安全安心を守るには建設業はなくてはならないということを確認した」と強調。「自然災害が激甚化する中、建設業の社会的重要性はますます高まっている。今後本格化する復旧復興にも協力してほしい」と呼び掛けた。

受賞者を代表して帯広建協の西江靖幸副会長は、

「地域の安全安心を守る建設業の使命を果たすことができた。これから一団力を合わせて安全第一で復旧復興に全力を挙げていきたい」と述べ、決意を誓った。十勝測量設計協会の菊地勇副会長は「受賞できたことは自信と誇りになる。今後ともオール十勝としてさらなる研さんと資質向上に努め、社会貢献に尽くしていきたい」と意欲を見せた。

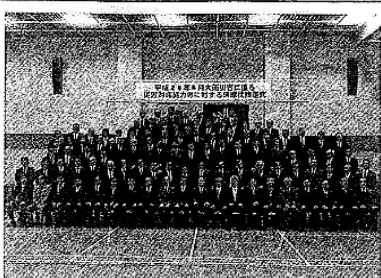
災害対応協力者に対し帯広建管 110者の功績たたえ感謝状 復興へ一層の活躍を期待

問わず災害対応に奔走した多大な功績をたたえた「受賞者は三日付」面既報。十勝管内は、昨夏の一連の台風等に伴う大雨の影響で甚大な被害が発生。管内の建設業者は、公共土木施設の機能確保に向け、二十四時間体制で応急対策に尽力した。建管では、特に功績のあった百十者を選出し、感謝状を贈呈することとした。

贈呈式では、永山副局長が各社の代表者に感謝状を贈呈したとあり、ついで、「未曾有の大災害を経験し、地域の安全・安心を守るためには、建設業はなくてはならない存在だとあらためて認識した」と強調。その上で、「今後の復旧・復興事業など、災害に強い地域づくりに向け、様々な場面で力を発揮してほしい」とさらなる活躍に期待を寄せた。

続いて、受賞者を代表して帯広建設業協会の西江靖幸副会長が永山副局長に感謝状を手渡した。

長と十勝測量設計協会の菊地勇副会長があいさつ。西江副会長は「今後、本復旧工事がはじまるが、業界一丸となって安全第一で地域の復旧・復興に全力を注いでいく」、菊地副会長は「こつなかる。今後も研鑽を積んで資質向上に努め、社会に貢献していく」と決意を新たにした。



永山副局長が受賞者一人ひとりに感謝状を手渡した

【帯広発】帯広建管は十三日、十勝合同庁舎で二十八年八月大雨災害にかかると謝状贈呈式を執り行った。永山秀明副局長が百十者の代表者一人ひとりに感謝状を贈呈。地域住民の安全・安心等を守るべく、昼夜を